

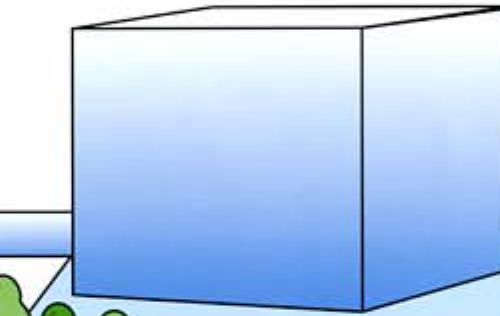
水が家庭に届くまで

水道が普及したおかげで、現在私たちは蛇口をひねればいつでも水を使うことができます。しかし実際に川から汲み上げられた水が私たちの家庭に届くまでには、長い時間と多くの費用がかかります。途中でさまざまな処理がほどこされ、安心して飲める水として私たちの家庭に届くのです。



福岡県南広域水道企業団

広川町受水地



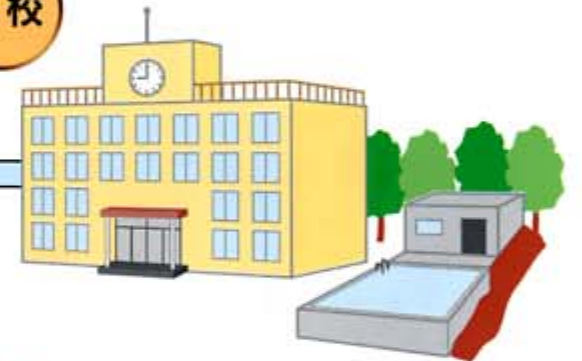
団地



家庭



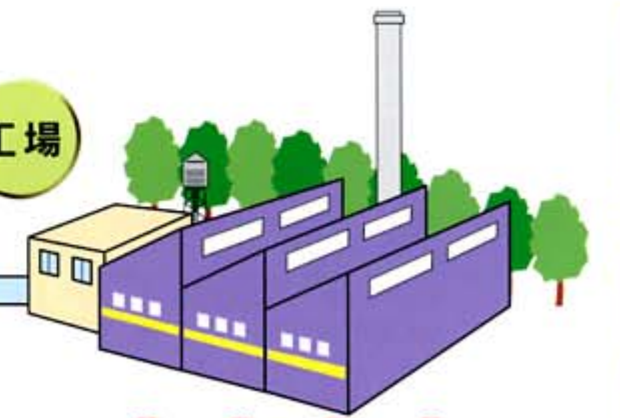
学校



病院



工場



ちんでんち
沈澱池

薬品注入によって水の中に含まれている浮遊物の沈澱を促進させ、汚れを取り除きます。

から
ろ過池

沈澱処理で取り除くことができなかった小さなごみなどを、砂などでろ過して取り除きます。

しょうすいち
浄水池

さまざまな処理が終わって飲める水となり、配水池へ送る水をためておくところです。

ちやくすいせい
着水井

貯水池から送られてきた水が集まる場所。ここでは原水の流入量や水質に合わせて薬品注入量を調整します。

てんひかんそうしょう
天日乾燥床

沈澱池に堆積した浮遊物(汚泥)を天日で乾燥させます。

そうすい
送水ポンプ室

浄水池の水を送水し、ポンプで配水池へ送り出します。

薬品注入

塩素注入

